

「洋上風力発電設備の工事实施の方法の審査指針」の策定方針

- 港湾区域に洋上風力発電設備を設置する場合、港湾機能・海域利用への影響防止、海上工事の安全確保、品質確保、導入の円滑化等の観点から、港湾管理者による工事实施の方法の審査が必要とされている。
- 港湾管理者による的確な審査のため、「洋上風力発電設備の工事实施の方法の審査指針」を平成29年度中に策定する。

【審査指針に盛り込む内容(案)】

工程	内容	港湾管理者による審査の視点の例
施工のための 事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然条件の調査 ● 社会条件の調査 ● 船舶・機械の調達 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象・海象を踏まえた工程設定、安全対策 ○ 港湾・海域の利用状況を踏まえた工程設定 ○ 作業船、資機材等の調達を踏まえた工程設定 <p style="text-align: right;">等</p>
陸上作業、 荷役作業	<ul style="list-style-type: none"> ● 積出岸壁への運搬 ● SEP船への積込 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重量物の搭載等に対応した地耐力確保の方策 ○ 施工段階における地震・台風等の災害対策 <p style="text-align: right;">等</p>
海上作業	<ul style="list-style-type: none"> ● 海上運搬 ● 基礎構造物の施工 ● タワーの据付け ● 風車本体の施工（ナセル、ハブ、ブレード） ● 海底ケーブルの敷設 ● サブステーションの設置 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周辺海域の利用、港湾機能への影響 ○ 施工に伴う海域の占用範囲・期間 ○ 施工段階における地震・台風等の災害対策 ○ 工程管理 ○ 出来形管理、品質確保 <p style="text-align: right;">等</p>

国内関連法規に適合しつつ、港湾工事の関連規格等をベースとして、欧州規格に日本特有の自然条件等を勘案し指針策定